

国産和牛のグローバル化を 視野に更なるブランド力強化へ

株式会社 杉本本店



人吉市の矢岳牧場

主力ブランド牛「黒樺牛」の繁殖・肥育・販売を中心に、
国産和牛の販売のみならず、火乃樺馬刺しの生産拡大にも注力する同社。
品質管理の徹底とブランド肉の一貫した生産技術を生かし、
今後も食肉分野での重要な役割を果たしていく。



自社ブランド「火乃樺馬刺し」



自社ブランド「黒樺牛」



宇城市豊野町にある杉本本店直売所

創業時から食肉生産・流通を通して顧客の食の安全性への不安を解消し「家庭でも味わえる高級牛肉」を提供し続ける(株)杉本本店(宇城市豊野町、杉本光士郎社長)。

昨年11月には自社ブランド牛「黒樺牛(くろはなぎゅう)」、「火乃樺馬刺し(ひのはなばさし)」のさらなるグローバル化を見据えた人事体制構築のため、杉本知彌社長が会長に杉本光士郎専務が社長、杉本侑次朗専務を専務に就任し新体制でのスタートをきった。近年、国内の国産和牛市場は、生産者の高齢化、輸入肉の増加などの問題から年々減少傾向にある中、この問題に真摯に向き合う同社では美味しく安全安心な国産牛を消費者の方々に安定供給するため、生産情報を生産者が正しく正確に記録・管理・公表する「JAS認定」や最新の設備、衛生技術はもちろんの事、繁殖から肥育・販売までを一貫して行う事でより多くの国産牛の出荷を可能にしている。

HACCP対応型の食肉加工場を建設

創業時から掲げる「安心・安全・高品質(信頼)を食卓へ」のもと時代の変化に柔軟に対応している杉本本店。今年度は、飼育施設を九州内で直営10カ所を含む41カ所(保有頭数2万頭)の国内有数の飼育体制を確立。さらに本社敷地内に国産和牛の

グローバル化を見据え、食品の衛生管理に関する国際基準対応のHACCP(ハサップ)対応型の食肉加工場の建設も計画。また、馬刺しブランドの向上にも取り組む同社では昨年3月、城南町に馬の肥育牧場を開設。火乃樺馬刺しの安定供給体制も構築している。

黒樺牛、火乃樺馬刺しの2ブランドを確立

九州の恵まれた自然と熟練の育成技術、最新の管理システムを駆使し出荷する自社ブランドJAS認定牛「黒樺牛(くろはなぎゅう)」も今年で発売から10年目の節目の年を迎えた。JAS認定馬「火乃樺馬刺し」も今年12年目を向かえ月間10~15頭の市場への出荷供給体制を構築している。近年、県内外での黒樺牛、火乃樺馬刺しの2ブランドの認知度は向上しており、今後世界へ向けたPR体制も強化していく方針だ。

さらなる顧客満足の獲得への挑戦

顧客目線と同時に杉本社長は消費者に向けた牛肉普及活動にも重点を置いている。今年4回目を迎えた杉本本店春祭りもその一環だ。熊本地震後初開催となったお祭りには県内外から約8千人以上の来場者が訪れBBQやヒーローイベントなどを楽しんでいた。

杉本社長は「生産供給体制の充実と新たな食品の提案開発にも積極的にチャレンジを続けていくとともに杉本本店の創業以来の基本理念である『安全と品質』を忘れることなく全社員一丸となり積極的に推進しお客さまに安心し満足していただける商品を届けていきたい」と杉本本店の掲げる経営理念である「安心・安全・高品質を食卓へ」のもと今後も社業を通じたあくなき挑戦は続く。



profile

杉本 光士郎 社長
すぎもと・こうしろう / 1984(昭和59)年7月23日生まれの33歳。熊本県立熊本商業高校卒、2003年同社入社し06年専務取締役、16年代表取締役役に就任。趣味はゴルフ

DATA

所在地	〒861-4307 宇城市豊野町農林538
TEL	0964-45-2611
FAX	0964-45-2988
URL	http://www.sugimotohonten.co.jp
設立	1983(昭和58)年1月
資本金	5000万円
売上高	107億円
代表者	代表取締役 杉本 光士郎
従業員	108人
事業内容	和牛の製造・肥育・食肉卸・小売
グループ企業	杉本本店、矢岳牧場、スギモトファーム